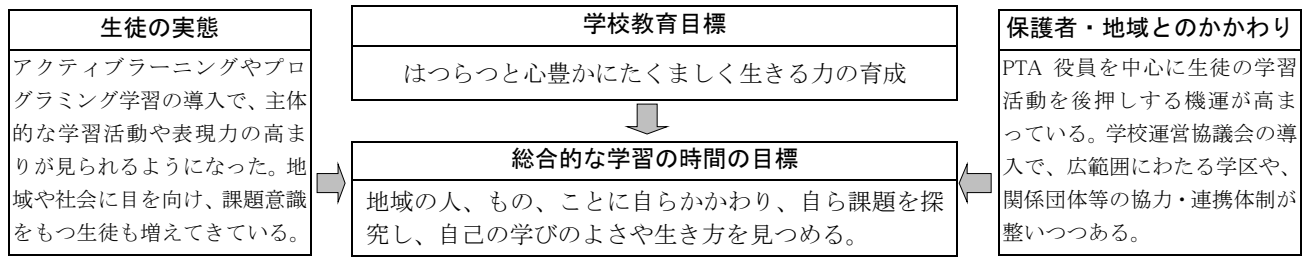


平成31年度 総合的な学習の時間 全体計画



探究課題	育てようとする資質や能力								
“新見”の産業を支え地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 プロジェクトテーマ <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1年</td><td>地域の産業を調べることで、新たな“新見”を発見しよう。</td></tr> <tr> <td>2年</td><td>地域の職業を体験することで、新たな“新見”を探ろう。</td></tr> <tr> <td>3年</td><td>地域の課題を見つめることで、新たな“新見”を創造しよう。</td></tr> </table>	1年	地域の産業を調べることで、新たな“新見”を発見しよう。	2年	地域の職業を体験することで、新たな“新見”を探ろう。	3年	地域の課題を見つめることで、新たな“新見”を創造しよう。	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> 知識及び技能 思考力、判断力、表現力 学びに向かう力、人間性 </td><td style="vertical-align: top;"> ・地域には様々な産業や職業が存在し、私たちの生活を支えていることがわかる。 ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し、互いに関わり合いながら役割を果たしていることがわかる。 ・地域を活性化するためのアイデアや具体的な取組があることがわかる。 ・様々な問題状況の中から課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ・情報収集の手段を選択し、必要な情報を蓄積し整理・分類する。 ・多様な情報にある特徴を見つけ、事象を比較したり関連付けたりして課題解決に向けて考える。 ・相手や目的に応じ分かりやすくまとめ表現する。 ・探究的な活動を通し、自己を見つめるとともに異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 ・自他のよさを生かしながら、自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通し、自己の生き方を考え夢や希望をもつとともに、進んで実社会・地域の問題の解決に取り組もうとする。 </td></tr> </table>	知識及び技能 思考力、判断力、表現力 学びに向かう力、人間性	・地域には様々な産業や職業が存在し、私たちの生活を支えていることがわかる。 ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し、互いに関わり合いながら役割を果たしていることがわかる。 ・地域を活性化するためのアイデアや具体的な取組があることがわかる。 ・様々な問題状況の中から課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ・情報収集の手段を選択し、必要な情報を蓄積し整理・分類する。 ・多様な情報にある特徴を見つけ、事象を比較したり関連付けたりして課題解決に向けて考える。 ・相手や目的に応じ分かりやすくまとめ表現する。 ・探究的な活動を通し、自己を見つめるとともに異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 ・自他のよさを生かしながら、自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通し、自己の生き方を考え夢や希望をもつとともに、進んで実社会・地域の問題の解決に取り組もうとする。
1年	地域の産業を調べることで、新たな“新見”を発見しよう。								
2年	地域の職業を体験することで、新たな“新見”を探ろう。								
3年	地域の課題を見つめることで、新たな“新見”を創造しよう。								
知識及び技能 思考力、判断力、表現力 学びに向かう力、人間性	・地域には様々な産業や職業が存在し、私たちの生活を支えていることがわかる。 ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し、互いに関わり合いながら役割を果たしていることがわかる。 ・地域を活性化するためのアイデアや具体的な取組があることがわかる。 ・様々な問題状況の中から課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ・情報収集の手段を選択し、必要な情報を蓄積し整理・分類する。 ・多様な情報にある特徴を見つけ、事象を比較したり関連付けたりして課題解決に向けて考える。 ・相手や目的に応じ分かりやすくまとめ表現する。 ・探究的な活動を通し、自己を見つめるとともに異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 ・自他のよさを生かしながら、自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通し、自己の生き方を考え夢や希望をもつとともに、進んで実社会・地域の問題の解決に取り組もうとする。								

キャッチフレーズ

「ふるさと再発見 新たな新見 みらいづくり」

学習活動		
1年（50時間）	2年（70時間）	3年（70時間）
【新見発見プロジェクト】20 新見の産業について調査活動や調べ学習を行い、地域への関心を深める。 ※学級単位で関連施設への訪問学習を実施する。（例：石灰、特産品、市役所等） 【選択型プロジェクト】16 新見発見プロジェクトと関連づけ、課題解決に向けて自らできることを主体的に行う。 【プログラミングプロジェクト】6 選択型プロジェクトと関連づけたプログラミングの基礎を学ぶ。 【キャリアアッププロジェクト】8 様々な職業を探ることを通して、自己の夢や適性と進路との関係を考える。	【新見体験プロジェクト】28 職業体験学習を企画・実施・評価し、地域に貢献する態度を養う。 ※生徒の希望をもとに小グループ単位で関連施設への体験学習（3日間）を行う。 【選択型プロジェクト】14 新見体験プロジェクトと関連づけ、課題解決に向けて自らできることを主体的に行う。 【プログラミングプロジェクト】6 選択型プロジェクトと関連づけたプログラミングの応用を学ぶ。 【平和追求プロジェクト】12 広島平和学習を通して過去の歴史を振り返り、持続可能な社会への意識を深める。 【キャリアアッププロジェクト】8 様々な上級学校を探ることを通して、自己の夢や適性と進路との関係を考える。	【新見貢献プロジェクト】16 自ら地域に貢献できることを企画・実施し、社会参画に向けた実践力を養う。 （ボランティア、広報活動等） 【選択型プロジェクト】18 地域の課題を探り、“新見”活性化に向けての提言を主体的に行なう。 【プログラミングプロジェクト】8 プログラミング学習で培ってきたことを、地域の課題解決に向けて活かす。 【異文化体験プロジェクト】12 修学旅行での民泊体験を通して、異なる地域文化を学び互いの良さを探る。 【キャリアアッププロジェクト】18 自己との対話や他者理解を通して進路との関係を具体化し、将来の自分を創造する。

指導方法	指導体制	学習評価
・生徒の課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・意図的に編成したチームでの協働的な学習を充実させる。 ・体験活動や言語活動を重視し、ICT を効果的に利活用させる。	・学年団を中心とした指導体制を組織する。 ・校内担当者と学校運営協議会とが連絡を取り合い、外部組織との連絡調整と支援体制を確立する。 ・新見みらいづくり会議実行委員会やロータリークラブ、官公庁などの外部組織の人材を有効活用する。	・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・自己評価、相互評価を行う。
		評価の観点 ○ 課題設定の力 ○ 将来展望の力 ○ 情報収集の力 ○ 社会参画の力

平成31年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第1学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～調査活動を通し新見の産業を知る～			
	時数	新見発見 プロジェクト(20)	選択型 プロジェクト(16)	プログラミング プロジェクト(6)	キャリアアップ プロジェクト(8)
4月	1	①オリエンテーション ②産業とは ③産業と働く人 ④情報収集 ⑤調査活動 (地域訪問学習) ⑥整理・分析 ⑦まとめ ⑧表現	活動の進め方 選択型チーム決定後、学級を2つのグループに分ける。一方が選択型学習を行うときは、他方はプログラミング学習を行う。選択型チームとプログラミング学習チームは同一メンバー。選択型チーム学習での指導者は担任と学年団。プログラミング学習の指導者は情報教育担当		
	2				
5月	3				
	4				
	5				
	6				
6月	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
7月	18				
	19				
	20				
9月	21				
	22				
	23				
	24				
10月	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	31				
11月	32				
	33				
	34				
	35				
	36				
	37				
	38				
12月	39				
	40				
	41				
1月	42				
	43				
	44				
	45				
2月	46				
	47				
	48				
	49				
	50				

①自己の夢・適性

②進路設計

平成31年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第2学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～体験活動を通し新見の産業を探る～										
	時数	新見体験 プロジェクト(28)	選択型 プロジェクト(14)	プログラミング プロジェクト(6)	平和追求 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(8)						
4月	1		①オリエンテーション ②課題設定・チーム編成 ③計画立案									
	2											
	3											
	4											
5月	5		④情報収集	実践講座								
	6											
	7				①事前調査 ②課題設定 ③体験学習 (広島平和学 習)							
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
	16											
6月	17		⑤調査活動									
	18											
	19		⑥整理・分析									
	20											
	21											
	22											
	23											
	24											
	25											
	26											
	27											
	28											
7月	29											
	30											
9月	31											
	32											
	33											
	34											
10月	35											
	36											
	37											
	38											
	39											
	40											
	41											
	42											
	43											
	44											
	45											
	46											
	47											
	48											
	49											
	50											
	51											
	52											
	53											
	54											
11月	55							⑦まとめ				
	56	実践講座										
	57							⑧表現				
	58											
	59											
	60											
	61							⑨成果発表会				
	62											
	63	①自己を見つめ る ②将来を見つめ る ③進路情報の収										
2月	64											
	65											
	66											
	67											
	68											
	69											
3月	70											

平成31年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第3学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～地域の課題を探り活性化のための提言をする～					
	時数	新見貢献 プロジェクト(16)	選択型 プロジェクト(18)	プログラミング プロジェクト(8)	異文化体験 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(18)	
4月	1		①オリエンテーション ②課題設定・チーム編成 ③計画立案		①事前調査 ②課題設定 ③民泊体験学 習 (修学旅行)		
5月	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
6月	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
7月	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
8月	17						
	18						
	19		④情報収集	実践講座			
	20						
	21						
9月	22		⑤調査活動				
	23						
	24		⑥整理・分析				
	25						
	26						
10月	27						
	28						
	29		⑦まとめ				
	30						
	31						
11月	32						
	33						
	34		⑧表現	実践講座			
	35						
	36						
12月	37		⑨成果発表会				
	38						
	39						
	40						
	41						
1月	42	①社会貢献活動と は ②自分たちにでき る こと ③計画 ④準備 ⑤地域貢献活動	活動の進め方 選択型チーム決定後、学級を2つのグループに分ける。一方が選択型学習を行うときは、他方はプログラミング学習を行う。選択型チームとプログラミング学習チームは同一メンバー。選択型チーム学習での指導者は担任と学年団。プログラミング学習の指導者は情報教育担当				
	43						
	44						
	45						
	46						
2月	47						
	48						
	49						
	50						
	51						
3月	52						
	53						
	54						
	55						
	56						
4月	57						
	58						
	59						
	60						
	61						
5月	62						
	63						
	64						
	65						
	66						
6月	67						
	68						
	69						
	70						
	71						

活動の進め方

選択型チーム決定後、学級を2つのグループに分ける。一方が選択型学習を行うときは、他方はプログラミング学習を行う。選択型チームとプログラミング学習チームは同一メンバー。選択型チーム学習での指導者は担任と学年団。プログラミング学習の指導者は情報教育担当

総合的な学習の時間 プロジェクト学習の進め方

～共通の目的の達成に向けた協働学習チームによる活動～

○プロジェクト学習の目的

- ①調査活動（昨年の研究結果）、体験活動、制作活動を中心に学習を進める。
- ②企画・運営・評価を主体的、協働的に進める。
- ③目的意識や問題意識に関わる自分の思いを実現する。
- ④社会活動によって作品や研究報告書を活かす実践活動をする。
- ⑤汎用的能力を体験を通して身につける。
- ⑥ R-PDCA サイクルに沿って活動を積み上げる。

○学習の流れ

全学年共通 選択型プロジェクト学習（各学年4名～3名でチームを編成）			
	主体的な学び	協働的な学び	深い学び
R	課題決定に意見を出す	課題を協働で決める	視点を工夫する
	先行研究の調査、簡単な調査、学習課題の決定を行い、自分たちの学習でどのような学びをすればよいのかについて大きな見通しをもつ。		
P	具体的な目標決定	協力して計画を立てる	計画書を作る
	インターネットなどで活用（または体験や訪問など）して簡単な調査を行い、学習したいことをウェブマップマップを使って書き出す。そして、目標をチームで共有化する。（活動の展開によっては目標の変更を修正をしていく）		
D	積極的に活動に取り組む	協働で課題を解決する	アイデアを表現する
	調査研究、実践交流、体験活動を行い、プレゼンテーション資料を作成する。（インタビュー、アンケート、写真、動画など資料の収集）		
C	プロジェクト評価（自己）	相互評価（成果と課題）	評価レポートの作成
	自己評価、相互評価、プロジェクト評価を行う。（ポートフォリオ形式で保存しておく）プロジェクトそのものを振り返り成果と課題にまとめる。		
A	改善案を作成	分担して報告書の作成	今後の課題を見いだす
	改善案の作成・実行、学習の振り返りを行い、実施段階でうまくいかなかった活動の改善案を作成し、次年度につなげる。		

○必修型プロジェクト学習（短期活動）

学習内容	学年
・新見発見プロジェクト～調査活動を通して新見の産業を知ろう～	1年
・新見体験プロジェクト～職業体験を通して新見を探ろう～	2年
・平和追求プロジェクト～平和学習を通して持続可能な社会を考えよう～	2年
・新見貢献プロジェクト～自ら地域に貢献できることを実践しよう～	3年
・異文化体験プロジェクト～異なる地域文化の良さを探ろう～	3年
・プログラミングプロジェクト～課題解決に向けて活かそう～	全学年
・キャリアアッププロジェクト～将来の自分を創造しよう～	全学年